

広域行政対策特別委員会

- 1 開催日時 平成 27 年 3 月 13 日（金） 13 時 01 分～14 時 05 分
- 2 開催場所 第二委員会室
- 3 説明員 総合政策部長および関係職員
- 4 議事の概要

（1）関西広域連合について

関西広域連合委員会等の結果概要について、委員からは、連合委員会として国に対し「エボラ出血熱等一類感染症対策の強化を求める緊急提言」をされているが、関西広域連合や滋賀県としての体制、対応にまだまだ不十分な部分があるのではないかとの意見が出された。

（2）「広域連携推進の指針」の改定（素案）について

指針の改定（素案）に対して、委員からは、社会情勢の変化としてリニア中央新幹線の着工を上げ、米原駅を起点とした広域交通の分析がされているが、リニアは名古屋駅以西で三重県、奈良県を通り、中間駅もできることから、県南部の甲賀地域やJR草津線等に係る広域連携についても、その方向性を示すべきとの意見や大規模広域災害時における広域的な応援・受援体制や原子力災害に対する広域的な防災体制の構築について、現実の取り組み以前の府県間の関係構築や本県における実効性のある個別計画の策定に課題があるのではないかとの意見が出された。

（3）関西広域連合における琵琶湖・淀川流域対策にかかる研究会の状況報告について

市町村との意見交換会および研究会概要の説明について、委員からは、平成 25 年台風 18 号において、瀬田川洗堰で 41 年ぶりに全閉操作が行われたことに関して、琵琶湖など上流の一方的な犠牲を前提に下流の安全を図ることのないよう、下流府県により一層発信すべきとの意見が出された。



委員会で配布された資料

- 1 関西広域連合委員会等の結果概要について（報告）
- 2 「広域連携推進の指針」の改定（素案）について
- 3 関西広域連合における琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会の状況報告について